

2009 年度学習院大学史学会例会

■11 月 14 日 講演／美術館見学

古代ローマ帝国の時代を知る

「古代ローマ帝国の遺産 - 栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ -」を見ながら

講演／美術館見学

古代ローマ帝国の時代を知る - 「古代ローマ帝国の遺産 - 栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ」展を見ながら -

例会報告(文責：島崎哲也)

例会報告

2009 年度学習院大学史学会例会

【古代ローマ帝国の時代を知る - 「古代ローマ帝国の遺産 - 栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ」展を見ながら - 】(講演/美術館見学)

今年度の史学会例会では上記のように銘打ち、島田誠教授による講演（於：学習院大学北二号館 10 階大会議室）とその後の美術館見学（於：東京国立美術館）という二部構成の例会を 11/14（土）に行いました。

第 1 部 講演会 タイトル「古代ローマ帝政とポンペイ」

第一部では第二部の見学に先駆け、まずは古代ローマ帝国の時代についての知識を深めることを目的とした講演を島田誠教授に行っていただきました。内容も企画展とリンクしたものをお話いただき、非常に有意義な講演となりました。

第 2 部 見学会

第二部では実際に国立美術館で企画展を見学しました。土曜日という混雑が予想される状況のため館内では自由見学という形となってしまいましたが、第一部の講演を聞いた上でローマ帝国時代の遺物を実際に見ることにより、同時代への興味関心をより一層強めることが出来たのではないかと思います。

当日は雨にも関わらず多くの方々に足をお運びいただくことができました。またご協力をいただきました島田教授及び例会関係者、参加会員の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申

し上げます。